



テーマ：百日咳の感染予防について

令和6年9月下旬に、
山形市保健所管内で、未就学児の百日咳の発生届がありました。
感染経路は不明ですが、どの年齢の方でも感染する可能性がありますので、
家庭内や保育施設等における集団感染の予防のため、
基本的な感染対策をあらためて徹底していただくようお願いいたします。
百日咳の特徴として、持続する咳症状があるため、咳症状が続いている方に対し、無理をせずに自宅療養を勧める、マスク着用や早めの医療機関受診を促すなどのご対応も併せてお願いします。

百日咳とは

百日咳は、咳を主症状とする急性気道感染症で、百日咳菌が原因です。
感染経路は飛沫・接触感染となり、咳による飛沫や、汚染されて間もない物品を介しての接触等が感染源となります。
通常の風邪症状で始まりますが、次第に咳の回数が増えて程度も激しくなります。
症状が重くなった後、回復するまで約2、3か月かかります。
百日咳菌の感染力はとても強いため、家庭内や学校などで感染が広がってしまうことがあります。感染を予防することが一番のポイントになるため、各施設・個人での基本的な感染対策の徹底（手指衛生、咳エチケット等）が求められます。



おひさまルーム 保育室

山形済生病院 病児保育所



おひさま ルーム

〒990-0818 山形市沖町79番3
TEL・FAX： 023-674-8856
HP：<https://www.ameria.org>

開設日： 月曜日から金曜日
（祝日・年末年始除く）

8：30～17：00

対象児： 1歳から小学校6年生
配置職員：看護師・保育士

